

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「超スマート社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

異分野共創型の AI・シミュレーション技術を駆使した健全な社会の構築

3. 研究開発課題名

高度実社会モデリングによる災害復旧・業務継続シミュレーションAI

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

菅野 太郎(東京大学大学院工学系研究科 准教授)

5. 評価結果

評点: A (優れている)

総評:

本研究開発課題は、訓練の高度化によって組織の災害対応力を継続的に向上させることを目指すものであり、人の経験、能力向上と共に進化するシミュレーション AI とそれを用いた災害復旧・業務継続力訓練プログラムを開発するものである。高度な実社会モデルを備えた災害復旧・業務継続シミュレーションを用いた訓練システム、AIによる最適評価基準、人-AI のインタラクティブな技術改良によってこの実現を試みている。

探索研究において、災害時の BCP というテーマ設定のもと、開発ターゲットとするシステムを明確にするとともに、フィールドを確保したうえで実務者に利活用してもらえる環境を整えたことは、高く評価できる。現場の意見を吸収した形での提案、議論は、今後の研究の深化に期待できる。学会関係で対外的な情報発信が十分に行われていることも、優れた成果と認められる。

今後は、研究成果を多様な対象に対して汎化する手法や、システムの導入による社会的効用を評価できる手段について検討することを期待する。

以上